

vol. 5

資源循環センター リサイクルの森

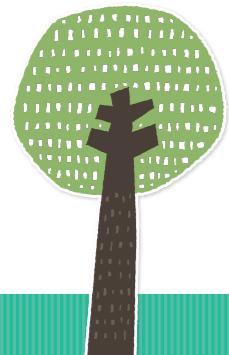
運営ニュース

令和3年3月号



ごみ処理の最前線、今何を考える プラスチック圧縮梱包施設

長引く新型コロナウィルスの影響を受けて、
ライフスタイルは変わりつつあります。
最前線の作業員がごみ問題を提言します…



可燃ごみ焼却施設運転情報



焼却量と発電量

	1号炉(t)	2号炉(t)	合計	発電電力量(MWh)
令和2年12月	2,243.11	2,210.84	4,453.95	2,034.87
令和3年1月	2,268.54	1,388.03	3,656.57	1,742.16
令和3年2月	1,562.99	2,006.14	3,569.13	1,672.51

ばい煙濃度

採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定濃度			
			ばいじん濃度(g/m³N)	窒素酸化物濃度(ppm)	塩化水素濃度(ppm)	硫黄酸化物濃度(ppm)
組合管理値			0.01	50	30	20
1号炉 排ガス	令和3年 2月2日	令和3年 2月16日	<0.001	24	<3	1
2号炉 排ガス	令和3年 2月2日	令和3年 2月16日	<0.001	36	10	4

ご来館の際は、マスク着用へのご協力をお願いいたします。

イベントなどのお知らせ

モノ・コトショップ

ご家庭で不要になったけれど、まだまだきれいで活躍しそうなモノをお持ちいただき、必要な方々に譲る不用品交換のお店を開催しています。
※詳細、開催日はホームページをご確認ください。

緩衝材で工作!「春のおでかけ弁当」を作ろう!

開催日時 令和3年4月29日(木・祝) 10:00~15:00

①午前の部 10:00~12:00

②午後の部 13:00~15:00

予約受付 令和3年4月7日(水)9:00~令和3年4月28日(水)16:00

募集人数 ①②共に5グループ(最大25名程度)

※小学生以下は保護者同伴

定員になり次第締め切りとさせていただきますのでお早めに申込みください。

(株)くわなEサービス0594-87-5133まで。

工場見学ツアー

月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時まで、
1回90分程度で見学コースを周ります。

お1人から見学できますので電話でお気軽にお問合せください。



リサイクルの森 三重県桑名市多度町力尾字沢地4028 マップコード:290059186



資源循環センター リサイクルの森 運営ニュース vol. 5 令和3年3月号

発行:(株)くわなEサービス

お問い合わせ先:(株)くわなEサービス 0594-87-5133

ホームページ:https://www.kwes-ebara.com

※(株)くわなEサービスは、リサイクルの森運営会社です。



リサイクルの森 プラスチック圧縮梱包施設

ごみ処理の最前線、今何を考える



モフリン

リサイクルの森には可燃ごみ焼却施設、リサイクルプラザ、プラスチック圧縮梱包施設、管理棟があります。そこでは多くの人が強い責任感をもって仕事に従事しています。私たちが出したごみが街から溢れないのは、日々それを処理する彼らがいるからです。今、新型コロナウィルス感染拡大防止のためにも、私たちの正しい分別が求められています。各施設での仕事と彼らの思いを知り、ごみを出す時にその先のことを少し考えると、自ずと出し方も変わってくるのでは…

今回はプラスチック圧縮梱包施設です。

施設概要 容器包装プラスチックから手作業で不適物を取り除き、圧縮・梱包しブロック状に成形する作業を行っています。

容器包装プラスチックごみとは

中身を取り出したり使い切った後不要となる プラマーク表示のあるプラスチック製の「容器(入れもの)」や「包装(包み・袋)」をいいます。



※1 汚れの取れないものは可燃ごみ ※2 二重袋にしないでください。 ※3 ペットボトルは中身を空にしてすぎ、つぶさずに資源ごみに出してください。
※4 紙ラベルなどプラスチック以外の素材は取れる範囲で取り除いてください。

プラスチック圧縮梱包施設での処理の流れ

集められたごみは、手作業で不適物を取り除き、圧縮・梱包しブロック状に成形され再資源化のためリサイクル工場に運ばれます。



- 1 収集車により集められた容器包装プラスチックは受入ヤードに貯められます。
- 2 貯められた容器包装プラスチックを受入ホッパに投入します。
- 3 コンベヤで破袋機に運ばれ、袋を破りごみをほぐします。
- 4 さらにコンベヤで手選別室に運ばれ、混入不適物を手作業で除去します。
- 5 最後に圧縮梱包機に運ばれ、つぶして固めて梱包します。
- 6 搬出貯留ヤードに保管し、リサイクル工場へ搬出します。

手選別室、人の手が欠かせない



左ページ「処理の流れ」の4項に記載しました、収集されたごみは混入不適物を取り除くため、手選別室に運ばれます。

選別現場で作業員さんの手作業により、一つひとつ不適物が取り除かれています。どんなに機械化が進んでも、人の手や目が一番確かなんです。

熟練作業員さんになると、瞬時に不適物を見つけ2本の手が4本に見えるスピードで取り除きます。

危険な不適物、違う種類のごみを混ぜて出してしまうとこの作業はかなり大変です。

食べ残しの入ったままのお弁当容器は、リサイクルできないうえに悪臭の原因になります。固体物を取り除き、汚れた容器は軽く水ですすいで出してください。

出す人にとっても、処理する人にとっても、安全・安心なごみ出しをお願いします。



現場の作業員に聞きました！4つの質問

Q1 容器包装プラスチックのごみ出しにお願いすることは？

まずは「」マークを確認しましょう。資源として再生するため、中身を空にして汚れを拭きとるか水洗いをお願いします。油や臭いの落ちないものは「可燃ごみ」にお出しください。

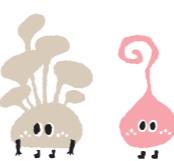
Q2 危険な不適物が混入していたことはありましたか？

カッターの刃や髭剃り、1Kg のダンベルなどの混入がありました。最近では使用済みのマスクやティッシュが多く混入しています。



Q3 新型コロナウィルス感染症についての対策は？

就業前に検温・体調申告を行い、作業中はマスクや手袋を付け、終了時には石鹼等による手洗いで除菌を徹底しています。



Q4 現場で、今思う事は？

コロナ感染警戒時においても、誇りをもって業務に従事しております。知らず知らずのうちに間違った捨て方をしていないか、正しいごみ出しの基本を理解していただき、適切な分別をお願いします。

一人ひとりが、ごみを減らす意識を

長引く新型コロナウィルスの影響を受けて不急の外出を控え、外食から自炊に、外飲みから家飲みと身边にライフケースタイルは変わりつつあります。

今まで忙しくて見て見ぬふりをしていたごみ問題にも、目をそらさずに取り組んでいきましょう。

